

2019年9月27日  
イオン琉球株式会社

10月の「食品ロス削減月間」「3R推進月間」に合わせ、  
食品ロス削減キャンペーン  
イオン那覇店にて初の「フードドライブ」を実施  
ご家庭でまだ食べられる食品をお預かりし必要とされる場所へ寄付します

イオン琉球（本社：南風原町、代表取締役社長：佐方圭二）は、今年新たに設定された10月「食品ロス削減月間」と「3R推進月間」に合わせ、食品ロス削減キャンペーンとして、イオン那覇店で初となるフードドライブの取り組みを実施します。

イオンは、2017年10月に「イオングループ食品廃棄物削減目標」を策定し、食品廃棄物を2025年までに半減（2015年比）すること等を目指し、グループを挙げて取り組みを進めています。

この度実施する食品ロス削減キャンペーンは、日本の食品廃棄物のうち、まだ食べられるのに捨てられている食品、すなわち「食品ロス」の国内排出量643万トンのうち、約45%にあたる291万トン\*が家庭で発生していることを受け、お客さまに改めて食品ロスを意識していただくことを目指して実施するものです。

10月1日（火）～31日（木）の期間、イオン那覇店にてフードドライブを実施し、ご家庭で食べきれない食品を持ち寄っていただき、サービスカウンターにてお預かりします。回収された食品は、那覇市社会福祉協議会さまへ贈呈し、必要とされる場所へと寄付していただきます。（贈呈式は改めてリリース予定です）



農林水産省



消費者庁



<店舗で掲示する啓発ポスターの設置（一例）>

<フードドライブでの食品回収イメージ>

イオンは、持続可能な社会の実現に向けて、これからもさまざまな事業活動を通じた社会課題の解決に貢献してまいります。

\*環境省及び農林水産省 我が国の食品廃棄物等・食品ロスの量の推計値（2016年度）より

【フードドライブ 実施概要】

- 実施期間 : 2019年10月1日（火）～10月31日（木）
- 実施店舗 : イオン那覇店（住所：那覇市金城5-10-2 電話：098-852-1515）
- 実施内容 : 期間中、家庭から持ち寄られた食品を1階サービスカウンターにて回収し、主催である那覇市社会福祉協議会さまに贈呈します。
- 回収対象 : 未開封で賞味期限が1ヶ月以上ある食品で常温保存のもの  
製造者または販売者表示、成分、アレルギー表示のあるもの

## ご参考

### 「3R推進月間」に関する取り組み

#### 【「買物袋持参運動」について】

イオンの「買物袋持参運動」は1991年にスタートし、2007年にレジ袋の無料配布中止の実験を開始、2013年にはお客さまのご理解のもと食品売場のレジ袋の無料配布中止店舗を全国に拡大しました。

現在では約2,000店舗（9月1日時点）に広がっており、今年度中に2500店舗を超える予定です。多くのお客さまがマイバッグのご持参等にご協力くださり、これらの店舗でのレジ袋の辞退率は80%超まで高まっています。

イオン琉球では、沖縄県と連携しマイバッグ利用促進のポスターを掲示し、お客さまへの啓発活動を行ないます。

#### 【「マイバスケット」について】

2000年に展開を開始した、デポジット式の“お持ち帰り専用かご”「マイバスケット」について、本年6月にカラーを一新しました。一部エリアの店舗での展開していた本品を、10月より全国の店舗での展開に拡大します。

「マイバスケット」は年間平均約25万個を販売しています。

（素材には、サトウキビを原料に使用したバイオマスプラスチックを30%使用しています。）



「マイバスケット」

#### 【「イオングループ食品廃棄物削減目標」について】

食品廃棄物について下記の目標を策定し、グループを挙げて取り組んでいます。

- ・食品廃棄物を2025年までに半減  
（発生原単位：売上100万円当たりの発生量・2015年比）
- ・「食品資源循環モデル」を2020年までに全国10カ所以上（対象1,000店舗以上）で構築

#### 【「10×20×30食品廃棄物削減イニシアティブ」について】

イオンは、世界各地の小売企業等とともに、食品廃棄物削減を目指す「10×20×30食品廃棄物削減イニシアティブ」に参画しています。

- ・参画企業：世界の大手食品小売企業等10社（アルファベット順）  
AEON（イオン）、Ahold Delhaize、IKEA Food、Kroger、Metro Group、Pick n Pay、The Savola Group、Sodexo、Tesco、Walmart
- ・活動内容：参画企業がそれぞれ20社の主要なサプライヤーを選定。  
WRI\*と英国を拠点に世界各地で展開する小売のリーディング企業であるTescoが連携して行なった実証実験による食品廃棄物削減手法に則り、小売企業等10社と200のサプライヤーが協働。商品製造過程で発生する食品廃棄物を2030年までに半減させる。  
さらに、この取り組みをサプライチェーン全体に波及させる。

\*WRI：地球環境と開発に関する政策研究・技術開発を行う米国の非営利のシンクタンク。1982年設立。国連環境計画・国連開発計画・世界銀行と共に、World Resources Reportを定期刊行。フードロスに関しては、CGF（The Consumer Goods Forum）ともにFood Loss & Waste Protocolを策定し、世界共通の算定手法でサプライチェーン上の重要管理点を特定し、削減に向けて行動を実施するよう呼び掛けている。

【店頭告知ポスター】

フードドライブに  
ご協力ください

米

食品ロス削減で  
環境に優しいライフスタイルを!

フードドライブ  
ご家庭に眠っている  
食品をお持ちください!!

フードドライブとは…



お客さま宅



お店



お客さまより  
ご提供



福祉施設・  
団体・生活困窮者



フードバンク  
団体

お客さまに、食す機会のない食べ物を当店にお持ちいただき、フードバンク団体を通じて食支援を必要とされている方へお届けする活動です。

対象商品

①～⑤を全て満たすもの

- ① 未開封のもの(外装が破損していないもの)
- ② 賞味期限が1ヵ月以上残っているもの
- ③ 常温保存のもの(冷凍・冷蔵食品以外)
- ④ 製造者または販売者が表示されているもの
- ⑤ 成分またはアレルギー表示のあるもの

※アルコール類(みりん・料理酒は除く)や手作りの品は対象外

お持ちいただきたい食品の例

缶詰・レトルト食品・  
インスタント食品・  
調味料



お預かりした食品は、フードバンク団体を通じて食品を必要とされている方々のもとにお届けいたします  
尚、お届け先(名称や場所)などの情報公開はございません。ご理解とご協力をお願いいたします

詳しくは売場係員までおたずねください。